

増穂だより

M A S U O D A Y O R I

高等学校卒業式典号



芝浦工業大学柏中学高等学校

http://www.ka.shibaura-it.ac.jp

〒277-0033 千葉県柏市増尾 700 番地

TEL 04-7174-3100(代) FAX 04-7176-1741

編集 総務部

発行日 令和4年3月2日

印刷所 榎横浜総合写真

対話と傾聴

— 40 期卒業 —

2021 年度芝浦工業大学柏高等学校卒業式告辞

— 校長 野村 春路 —

直感 (intuition)

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとう。保護者の皆様、本日はおめでとうございます。本校は、芝浦工業大学の歴史と伝統を踏まえ、1980年にここ柏市増尾の地に創立され、1990年に男女共学とし、1999年に中学校を併設して今日に至りました。これまで本校は11,000名を超える卒業生を輩出し、みなさんは高校40期生として、その仲間入りをする日を今日迎えました。

さて、アップルの共同創業者の一人にスティーブ・ジョブズ (Steve Jobs) がいます。彼は2011年に癌のため56歳で亡くなりましたが、その6年前の2005年6月に、アメリカ西海岸の名門校スタンフォード大学の卒業式においてスピーチを行いました。このスピーチは多くの人に共感を持って迎えられた名スピーチと言われています。卒業生のみなさんの中にも、このスピーチの内容を読んだり、あるいは彼が演説している動画を見たりした人がいると思います。そこでまず本題に入る前に、現在世界的に大きな問題となっている巨大プラットフォームの一つ、アップルの創業者のジョブズをどう見るべきかという問題があります。彼が亡くなってまだ10年ほどであるため、歴史的な評価を下す段階ではないと思いますが、これからは少なくとも批判的に捉えていくべき人物であると考えています。ですから、ここでは彼を持ち上げるつもりはありません。その上で、彼のスピーチの中に、私にとって気になることが述べられていますので、今日はそれについて触れたいと思います。

このスピーチの中で、ジョブズは自分の人生について3つのストーリーを語ります。それらは「点と点をつなぐ」、「愛と喪失」、「死について」がタイトルとなっています。このうち、ここでは3番目の「死について」のストーリーで語られた部分を取り上げます。このスピーチをしている2005年の頃は、彼はその1年前に癌になりその後手術に成功して、一応快復して復帰している時期でした。それまでの1年間に死と直面したという経験から学んだことを彼はこう語ります。

「あなた方の時間は限られています。だから、本意でない人生を生きて時間を無駄にしないでください。ドグマにとらわれてはいけません。それは他人の考えに従って生きることと同じです。他人の考えに溺れるあまり、あなた方の内なる声がかき消されないように。そして何より大事なのは、自分の心と直感に従う勇気を持つことです。あなた方の心や直感、自分が本当は何をしたいのかも知っている

はずです。ほかのことは二の次で構わないのです。」ここでハイライトすべきは、「何より大事なのは、自分の心と直感に従う勇気を持つこと」という部分です。私はこの文に出会った時、彼の言う「直感」とは何であろうと思いました。英語では“your heart and intuition”とあります。この部分がこの演説全体の中でジョブズが一番言いたいことであると思いましたので、彼の伝記などを少し調べてみました。すると彼は若いころ、禅宗の曹洞宗に傾倒しており、座禅修行を通じて彼が師と仰ぐ人は日本人の禅僧でした。その禅の先生から、「時間をかければ心が落ち着き、とらえにくいものの声が聞けるようになる。この時、直感が花開く」、「自分の内なる英知を見つけなさい」と教わったとあります。ここからは私の解釈ですが、人生で壁にぶつかったら、誰のものか分からない人生を生きるのではなく、立ち止まって、まず自分の心に問い、本当にしたいことは何か、なりたい自分は何かと。そうすると、あなたはもう知っているはずであり、それを一番としてそれに従う勇気をもつことだと言っているのだと思います。自分に引き付けて話を続ければ、私自身は直感というものを強く意識したことはありませんが、ジョブズのように修行や瞑想によって深められる直感だけではなく、人には自分の内面を論理的ではなく感じ取る能力は備わっていると考えています。ここから先は脳科学の問題かもしれませんが、深く立ち入ることはできませんが、少なくとも次のことは言えるのではないのでしょうか。それは、誰の人生でもない自分の人生において、立ち止まって自分に問いかけることが大切で、問いかけてもわからない時もあるでしょうから、また次の機会に問いかける。そのうち、自分の直感が働く時が来るから、それに従って生きることを第一優先として捉えてみてはどうか、ということだと思えます。

みなさん一人一人が、未来を変える力を持っています。その未来に進むために卒業式にあたり、自分に問いかけることと直感を大切にすることをお話しました。これらをみなさんへのメッセージしたいと思います。

最後になりますが、残念ながら卒業式にご列席いただけない皆様、すなわちPTAの関係者や同窓会の皆様には、この『増穂だより』を通じて、今後とも本校発展のために、お力添えくださいますようお願い申し上げます。

目次

校長告辞 / 式次第	1 P
受賞の喜び	2 P
巣立ちゆく者たちから	3 P
巣立ちゆく者たちから / 保護者から / 贈る言葉	4 P
贈る言葉	5 P

一、開式の辞	謝辞
一、校歌静聴	
一、卒業生保護者代表	
一、記念品贈呈	
一、答辞	
一、送辞	
一、校長告辞	
一、賞状賞品授与	
一、卒業証書授与	
一、開式の辞	



受賞の喜び

創立者有元史郎記念賞 ハルジオン

3組

この度は素晴らしい賞を頂き光栄に思います。6年間お世話になった先生方、素敵な毎日をくれた友達、そして部活でも勉強でも協力してくれた家族には感謝の気持ちでいっぱいです。

人はよく「悲しさや辛さを乗り越える。」と言う。ほくはこの表現はあまり適切でないと思います。乗り越えるという悲しみや辛さを忘れると言っているように思えるからです。ほくは、これらの感情を抱えながら一緒に生きていくべきだと思います。ここには生きる意味があるのかもしれない。

人はよく「あの時は楽しかったね」と言う。楽しさが消えないなら、悲しさや辛さだってそういうものなのだろう。ほくは中学高校生活で友達、先生方、家族からさまざまな思い出をもらいました。色々な感情を乗せた思い出が今日、いつかのほく自身、迷子になったいつかの自分に向けて旅立った。そんな気がした。生きる価値はあるらしい。

千葉県知事賞

感謝の気持ちを忘れずに

3組

この度は高校生活最後にこのような素晴らしい賞を頂くことができ、大変光栄に思います。新型コロナウイルスの影響で、楽しみにしていたイベントはなくなり、思い描いていたような高校生活とは大きく異なりましたが、日々の学校生活の大切さやありがたさに改めて気付かされました。校内での行動や部活動、さらには学校行事にまでも制限があるなど窮屈な毎日でしたが、その分先生方のご尽力により実現した行事や、何気ない日常生活の中で友達との絆は一層深まったと感じています。これからの人生も様々な困難に直面することがあると思いますが、芝柏での学びや経験を活かして、そして周りの人への感謝を忘れずに、常に精進して自分らしく一歩ずつ前へ進んで行きたいと思います。最後に、この6年間支えてくださった先生方や友達に感謝の気持ちで一杯です。本当に、ありがとうございました。

千葉県私立中学高等学校協会賞 感謝を込めて

5組

この度は、このような素晴らしい賞をいただき大変嬉しく思います。

高校3年間、私は仲間に恵まれました。クラスには、個性あふれるクラスメートやお互いに高め合う良きライバルが、部活には、笑いが絶えず、いついかなるときも支えてくれる仲間がいました。彼らと共に、この学び舎で学校生活を送れたからこそ、自他ともに成長し、とても有意義な時間を過ごしました。

そして、先生方が、学校生活や大学受験のサポートをしてくださり、私が不安で押しつぶされそうなときも、常に励まし、勇気づけてくれました。先生方がいたからこそ、数々の困難を乗り越えられたと言っても過言ではありません。

自分1人の力だけでなく、多くの人の力の必要性を実感しました。大学でも、新たな仲間たちとともにさらなる高みを目指したいと思います。本当にありがとうございました。

巣立ちゆく者たちから

感謝

1組

私にとって高校3年間はとてもあっという間で、かけがえのない時間になりました。この3年間は楽しかったことも多いですが、辛かったことも多かったですように思います。

高校生活を語るうえで欠かせないのは、やはり新型コロナウイルスです。1年生の冬に突如猛威を振るい始め、私たちの生活は一変しました。楽しみにしていたオーストラリア研修は中止になり、行事も縮小されました。しかし、条件がある中でも楽しめるように試行錯誤することは、とてもいい経験になりました。またオーストラリア研修の代わりとして、私たちのために動いてくださった先生方には、感謝してもきれません。

私たち40期生はこれからそれぞれの道を歩んでいきます。高校3年間で得た経験や、頼れる仲間を大切に自分の夢に向かっていきたいです。3年間ありがとうございました。

歩

4組

私は中学から六年間この学校にお世話になり、多様な経験を重ねました。

グリーンスクールでは自然に触れ、イギリス語留学では異文化に触れ、ともに人との繋がりを体感しました。これらの経験は、現在の私に大きな影響を与えています。自ら建築家という目標を掲げ、SSCⅢを活用することで専門分野の資格取得に向けた学習に取り組むなど、主体的な行動をとれるようになりました。

さらに大学では、戸建て住宅や身の回りの生活に重点を置いた研究に取り組むことで、自身の価値を高めていき、施主のニーズに応えられる建築家になりたいと考えています。

コロナウイルスの影響で開催が断念された研修旅行も、先生方の協力によって新しい形で実施されるなど、学年全体の結束力が強く、改めて、先生方に感謝の思いを伝えたいです。これから社会に出ても、この六年間を誇りにしたいと思います。

Children ⇒ Adults

2組

いよいよこの日がやってきてしまいました。中入生は6年間、高入生は3年間この学校に通ってきたわけですが、感じ方は人それぞれだと思います。いつの間にか終わっていたと感じる人や、やっと大学生になれると喜んでる人もいることでしょう。

時間というのはとても残酷なもので、楽しいと感じている時間は一瞬で過ぎ去ってしまいます。大学生活に入ったと思えばすぐに社会人になります。成人してからは高校生の時に僕たちの影に存在した味方は誰もいません。先生方や両親、様々な形で僕たちを支えてくれた人たちの存在は知らぬ間に薄くなっていきます。それでも時間は過ぎ去り、社会は僕たちを独りにしていく。しかし、そんな世界だからこそ、人の繋がりは不滅であるのだと思います。大人になっても40期の仲間たちが社会の波に流されず、互いの孤独を掻き消すような存在であり続けることを願っています。

一番の思い出は中3の運動会

5組

6年間まじで長かった！僕らの学年は不運な事に、中3のグアム、高2のオーストラリアがなくなり、コロナの影響で行事がフルで行えませんでしたが、でも、そんな限られた中でも楽しめる、楽しもうと努力するところが僕らのいいところでした。たかが1年早く生まれただけの僕が後輩に伝えられる事は特にないので、僕の生きる上で大切にしているモットーだけ紹介します。「今を楽しもう」です。人生は一度きり、高校生も一度きり。なら、僕は楽しい方がいいなと思って生きています。でも、やるべき事はやろう。(笑)僕は今これを第1,2志望に落ち、浪人に王手がかかった状況で書いています。重要な事なのでもう一度言いますが、やるべき事はちゃんとやろう！

最後に、こんな問題児が多い上、成績も悪く学習状況が最低だった僕らの学年を6年間、愛を持って接してくれた井上先生、本当に感謝しています。あと、18,40期のみんなもまじ感謝🙏

学校を卒業した後

3組

受験も大部分の人が終わり、大学に進学する人ももう1年頑張ろうとする人も色々いると思いますが、お疲れ様でした。自分としては受験というものは人生のなかで努力するという経験のうちの一つだと思っていて、たとえ落ちたとしてもこれがこれから生きていく上でも何かの形で役立つと思っています。ところで私たちの学年は海外研修にも行けずに特に何もないような形で終わってしまいましたが、これもまた何かすこし変わった思い出として、貴重な経験だったと思います。これからもこの3年間または6年間の経験を思い出しながら、生きていったら良いと思います。



出会えたことに感謝

6組

友達。6年間芝柏に通い続けたなかで1番の宝物です。コロナの影響で今までの当たり前は失われてしまいました。海外研修旅行などは中止となり、形に残る思い出は少なかったのかもしれませんが、それでも友達とは普段の生活など、行事とは違った部分でたくさん思い出を作ることができたのではないのでしょうか。別れはつらくて寂しいものですが、40期生と出会えたこと、人生の一部分を共に過ごせたことをとても嬉しく思います。

また、このような社会情勢にも関わらず、僕たちのために様々な企画を考えていただいた先生方には感謝しかありません。なによりも6組のみんなと須田先生、大淵先生。芝柏での最後の1年は、それぞれが違った目標を目指して進むことのできた素晴らしい1年でした。充実した1年をありがとうございました。最高の友達と新たな出会いを大切にしてこれからも前を向いて進みます。



巣立ちゆく者たちから

『芝柏での充実の6年間』

7組

今から約6年前、まるで波乱が待ち受けているのではないかと思わせるような風雨の強い日の午後が入学式でした。ありがたいことに波乱ではなくとても充実した6年間を過ごすことができました。中学高校と野球部に所属し、芝柏の部活の中では練習時間が長く、日曜日毎週練習試合という部活中心の日々を送りました。クラスでの時間は部活とは違う空間で、僕にとってはかけがえのない癒しの時間となりました。とにかく毎日が楽しかった！！毎年、年度末には「クラス替えしたくない」と思い、6年間のどのクラスも愛しいクラスです。よい仲間たちに出会うことができました。中2の合唱祭、中3の運動会、高1の増穂祭と賞も取れいい思い出です。芝柏の先生方も中学18期、高校40期の個性豊かな僕達を優しく見守ってくださいました。感謝しています。芝柏での6年間は一生の宝です。ありがとうございました。また是非会いましょう！

保護者から

40期卒業生 保護者挨拶

40期生学年代表

卒業にあたりまして、40期保護者を代表してご挨拶させていただきます。

オーストラリアの森林火災から新型コロナウイルス感染症の拡大に至る外的環境が、子ども達の3年間のあらゆる予定を大きく狂わせてしまいました。

想定外の事態が続き高校生活へのモチベーション維持も難しかったであろう状況の中、子ども達が各々、それぞれの努力を続け、無事に今日の日を迎えられることを誇らしく思います。この3年間は誰にとっても幸福な状況であったとは言い難いですが、そこから得られたものも確かにありました。子ども達はこの経験を活かし、前向きに進んでいただきたいと思います。

また、そんな厳しい状況にあった子ども達を支えてくださった先生方、学校職員、PTA本部、その他関係者の皆様に心より御礼申し上げますとともに、芝浦工業大学柏中学高等学校のますますのご発展と関係各位のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

贈る言葉

教頭

ご卒業おめでとうございます。「人生とは自転車のようなものだ。倒れないようにするには走らなければならない」これは、ドイツの物理学者アインシュタインの言葉です。

この金言には、人生は自分の力で前進することによって築いていくものであるという真理が示されています。

しかしながら、一方で立ち止まることも倒れないための方法です。

目標に向かって邁進しながらも、時々立ち止まって自分の位置を確認し、時には修正を図る、このバランスが皆さんの人生を豊かにする方策でしょう。

これからの皆さんが、実り多き人生を送られることをお祈りいたします。

学年主任 1・3組副担任

卒業おめでとう。もう、そんな時期になってしまったのですね。自分自身の卒業式を思い出すと《わくわく》でいっぱいでした。これから新しいことが始まるわくわく。その前に別れがあるんですが、それよりもその後に来る出会いにわくわくしていました。これから飛び立とうとする、皆さんの背中には無限の可能性という翼が生えています。翼を携え未来へとはばたいてください。今まで本当にいろいろな事がありました。が、エネルギーの塊のような皆さんが大好きです！愛しています！また、遊びに来てくださいね。最後に・・・「数学にはロマンがある」

1組担任

卒業おめでとう。中高6年間もしくは高校3年間は君たちにとってどんな日々だっただろうか。楽しみ尽くした人、そうでない人もいるかと思う。いずれにせよ、君たちは高校を卒業し、それぞれの道へと踏み出していくのだ。人が変わるためには「環境」「人間関係」「時間の使い方」の3つを変えることが重要だ。卒業は小さな共同体から強制的に脱出させられる装置だと捉えることもできるが、上記の3要素全てが変わる機会、いわば強制的変容をもたらす機会だともいえる。不安に思うこともあるだろう。年代問わず人間は変化を恐れる。予測が苦手な人類が危機回避するために養った「普通」の反応だ。一方変化は君たちを豊かにする。異文化を知ることで新たな価値観を獲得できるとともに自文化を客観視できるからだ。不安の大半は杞憂に終わるものだ。なんとかなる。恐れず、挑戦し続けてほしい。健闘を祈る。

2組担任

高校生活で各自がある一定の「知性」を身につけたことでしょう。その身につけた「知性」をこれからどう使うか・どう育てていくのかは全て皆さんの「自由」です。しかし「自由」はある意味恐ろしいものです。「知性」を利用して、ただ世俗的な価値を手に入れようとする人にとって「知性」はただの「道具」でしかありません。人間の「知性」は無限です。自らの「知性」にまだ先があることに気づき、不安を覚え、その先を激しく渴望し続けるような人が、40期の皆さんの中から一人でも多く現れて欲しい。皆さんの「知性」がどこまで高められていくのか、今からとても楽しみにしています。

3組担任

卒業おめでとうございます。バカの一つ覚えで申し訳ないですが、何度か皆さんに言ったことのあるこの言葉を、もう一度送らせてください。「足元を見て、空を見て」。

皆さんの前には皆さんがまだ見渡せていない広い世界、あなた自身の無限の可能性が広がっています。それらに目を向け、理想を見渡してください。一方で、これまでのように学校に属していれば進級によって自然と前に進んでいく時期は終わりです。あなた自身が自分の足で歩んでいかなければ進んでいきません。毎日の一歩一歩を大切に、しっかり地面を踏みしめて、理想を追求してください。新しい世界を作ってください。

4組担任

卒業おめでとう。ハーバード大学の研究で、人の幸福度は自分から数えて3人目まで影響することが分かっています。具体的な例を一つ挙げると、あなたが幸福を感じていると、あなたのお父さん・お母さんはもちろん、お父さん・お母さんの同僚を経て、その家族が幸福を感じる可能性が6%高まるとのこと。みんなにはぜひ、「幸せを多く感じられる”そして、”周りの人を幸せにできる”素敵な大人になってほしいです。「幸せは瞬間」です。今、卒業式、幸せですね。みんなには支えてくれる人がたくさんいて幸せでしたね。

私は40期生を担当できて幸せでした。素敵な思い出をありがとう。

贈る言葉

5組担任

ご卒業おめでとうございます。Stay true to yourself and to your dreams. And believe they can come true.

これから先、今までよりも広い世界に旅立ち、多くの人に出会います。今よりも君たちの可能性は広がります。その可能性を信じ、いつも自分や自分の夢に正直にいてください。そうすれば夢はかなえられるということも信じてください。素晴らしいことがあふれている未来に向かって旅立つみなさんをいつまでも応援しています。

またいつか立派になったみなさんに見える日を楽しみにしています。

6組担任

40期の皆さん、卒業おめでとうございます。皆さんは今、どんな気持ちでこの『増穂だより』に目を通してのでしょうか。まだ見ぬ新しい世界に胸を膨らませていたり、この学校から巣立っていくことを名残惜しく思ったり、様々な思いを持っているのではないかと思います。この文章を書きながら、若干の不安を抱えつつも新しい環境で精一杯頑張っている皆さんの姿を思い浮かべています。節目節目のときに元気に頑張っている姿を見せに来てくれると嬉しいです。私も皆さんに負けないように、飽くなき探究心をもって日々を過ごしていきたいと思っています。

7組担任

小学生の時、こんな合唱をした記憶がある。未知という名の船に乗り 希望という名の地図を見て 夢という名のコンパスで 未来を訪ねる冒険者 (『未知という名の船に乗り』1981年 第48回NHK合唱コンクール 小学校課題曲) この歌の誕生当時と比べ社会は大きく変化した。

社会で「育む」余裕がなくなり、未知ではなく即戦力であることが求められ/複雑多様化する社会で旧来の地図が通用せず、日々 Version Up される地図の取得におわれ/「社会の磁場」が自然的人為的要因で混沌とするなか、コンパスの指針がグルグル迷走し/

苦難が伴う航海を、演繹思考・帰納思考・客観的分析ふり返りの姿勢で、より良い判断を心掛け未来を切り開く開拓者でいて欲しい。健闘を祈ります。

2・4組副担任

成功したときより失敗したときの方が、ダメージは大きくとも多くの学びを得られると思います。そして、若いうちにしておいた方がいい失敗や、若いからこそ許される失敗は確実に存在します。

これからの人生、失敗を恐れず果敢に挑戦し、学び続けていってください。卒業おめでとう！！今後のご活躍を願っています。

5組副担任

「雨垂れ石を穿つ」という故事成語を聞いたことはありますか。「ポタポタと垂れる雨粒でも同じ場所を打ち続けていけば、いずれ石にも穴が開く」つまり「たとえ困難な目標でも、目の前の小さなことをコツコツ努力していればいずれ達成できる」という意味の言葉です。皆はこれから各々自分の目標に向かって歩みだします。いかなる困難があろうとも、焦らずコツコツと努力を重ね、自分の信じた道を目指して突き進んでください。

6組副担任

卒業おめでとうございます。4月から始まる新しい環境は自ら努力して掴んだ場所やこれから掴みに行く場所かと思えます。それぞれ進んだ道は違うけれど、今後は自分自身を律して挑戦しなければならぬことが増えると思います。たとえ、失敗をしても諦めることなく何度でも立ち上がる勇気を持ってほしいと思います。挑戦することで思っていた方向以上に道が拓くことも大いにあります。可能性は無限大です。ただ、頑張り過ぎた時は少し休憩して自分のことを褒めてあげてくださいね。今後過ごす皆さんの人生が豊かな時間になるように願っています。

7組副担任

人間万事塞翁が馬、晴れの日には気を引き締め、雨の日にも先を憂うことなく、何事も当たり前と思わず感謝を忘れず、今この時を楽しく送るように心掛けてください。人には尊敬の念を持って関わり、与え、信頼をもたらされる関係を大切に。信念を持って一つのことに打ち込み貫く生き方を。今、君が人生の時、40期生一人ひとりの幸多き楽しい人生を願っています。

2年次副担任

卒業おめでとうございます。芝柏1年目に担当した学年が皆さんでした。右も左もわからない自分に学校のことを教えてくれて本当にありがとう。これからの人生で様々な選択が待っていると思います。迷ったら生物・地学準備室でいつでもお待ちしております。

2年次副担任

ご卒業おめでとうございます。教員生活最初の1ページを彩ってくれた皆さんとの2年間は私の大切な宝物です。人懐こくて個性豊かな皆さんのこれからは幸せで溢れますように。他責的にならず、感謝と思いやりの心を忘れず“いい人間”になってください。

2年次副担任

40期の皆さん、卒業おめでとうございます。学年団として1年間、授業担当として2年間、皆さんと関わる事が出来て幸せでした。パワフルな人が多い40期の皆さんの今後の活躍を、陰ながら応援しています。これからの皆さんの人生に幸あれ！

1年次担任

卒業おめでとう。短い間でしたが、皆さんと過ごせたことに心から感謝しています。この先一度限りの人生をどう生きるかについては、ただ自分一人だけが責任を引き受けることができます。世界は他者と共に創られますし、大いに他者と共に生きるべきですが、時として他の誰かではなく、己自身に耳を澄ませることでしか進めない日があるはず。応援していますよ。皆さんの前途に幸多からんことを。

1年次副担任

卒業おめでとうございます。受験勉強という振り分けゲームの中にと、ともすれば狭視野になります。これからは、ラディカルにもものを視て、沸々と探求心につき動かされ、大いに学んでいきましょう。

